

利賀っ子だより



R5. 2. 22

○ 朝の会のフリートークから



【こんな方法どうかな】

よい方法が見つからないでいる子供がいることが分かりました。

つぶやきを聞いたHさんは、実際にハンガーにスキーズボンをたたんでかけて見せました。「帰るときまで、乾かしたいのに、たたむと乾かないかもしれない。」「腰のところでハンガーにかけたらどうかな。」「挟むところが付いているハンガーの人は、そこに挟むとよいかも。」それを見て、いろいろなアイデアが出てきました。

朝の会の後、3年生の3人が早速、自分のロッカーの整頓を始めていました。

よりよい環境にしようとアンテナを高くしているHさん、Hさんの問いかけに自分の考えを伝える子供、みんなの意見を聞いてよいと思ったことをすぐ実践する子供。どの子供たちも素敵でした。

朝の会のフリートークの時間に「ロッカーの整頓」についての話題が出ました。

話題を提供したHさんは、「ロッカーがぐちゃぐちゃとした感じで、お客さんが見た時にどう思うかなって考えてしまった。」とみんなに、問いかけました。登校時にスキーウェアを身に着けてくるので、その始末の仕方が気になっているようでした。「(整頓するのは)お客さんのためだけではないと思う。」「ハンガーにかけているけど、ロッカーは低いから、スキーズボンの裾が飛び出してしまう。」などのつぶやきも聞こえました。きちんとしたいとは思っているものの、



【なるほど こうするとよいのか】

○ 他校との交流



【「秋祭り」って言ったような気がする】

5・6年生が外国語の時間に市内の別の小学校の「Welcome to Japan.日本の季節や文化を紹介しよう」についての発表の録画を視聴していました。英語専科の先生が仲介して、児童の発表の交流をしてくださったのです。

録画のため、その場で聞き返すことができません。何を話しているのかを聞き取ろうと耳を傾けたり、聞き取った単語を頼りに話の内容を理解しようとしたり、集中して学習していました。

伝えたいことがあり、伝える相手がいることで、子供たちの学ぶ意欲が数倍も高まることを再確認しました。

(高田 公美)